

マテリアリティに向けた事業の取り組み

# メディカルイメージング

2023年3月15日

上席執行役員 ヘルスケア事業本部長

小林 一博



## X線診断装置



## 超音波診断装置



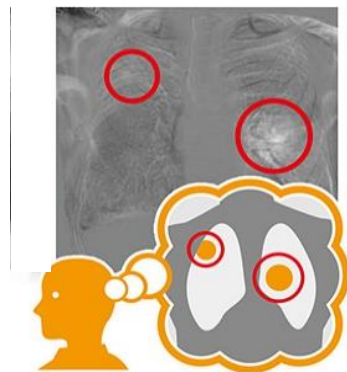
## バイタルセンシング



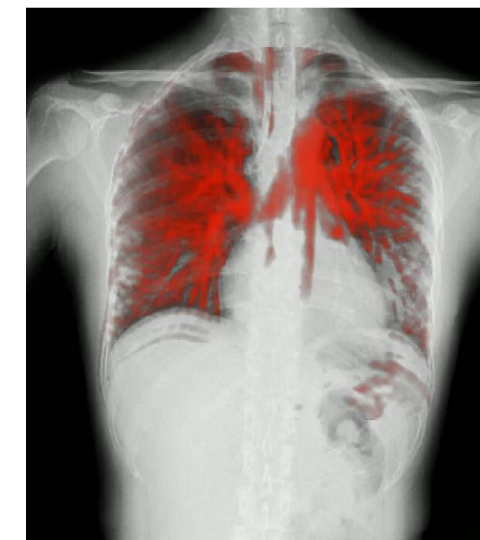
## 医療ITサービス



# X線診断技術を90年に渡りリード



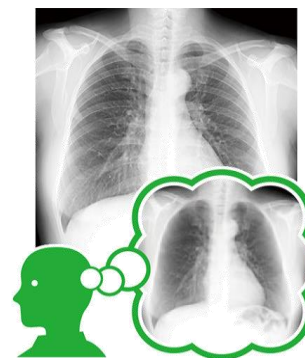
画像処理  
サービス



2018年  
X線動態解析システム

2011年  
世界最軽量カセット型DR発売

1999年  
カセットタイプCR発売



1933年 「さくらレントゲンフィルム」 発売



## 導入クリニック数 2万件

X線を導入している  
国内クリニックの約4割





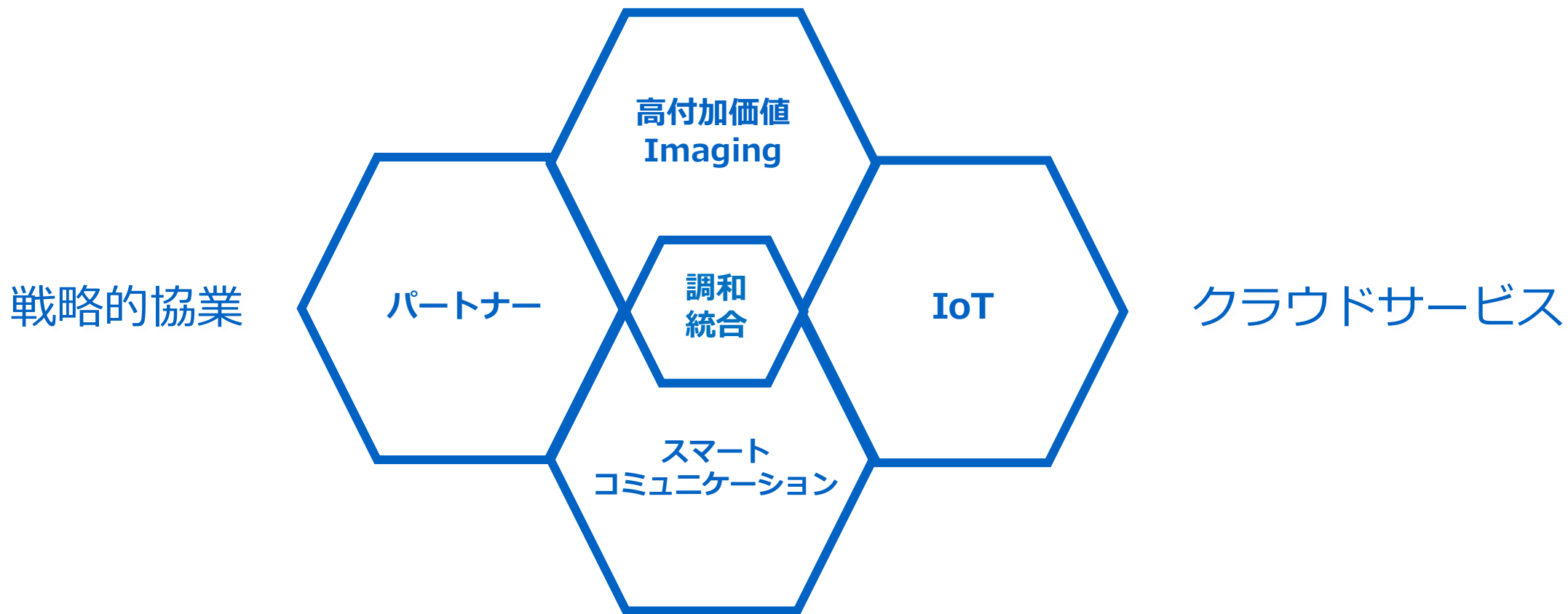
健康で  
高い生活の質の実現

QOL向上

早期診断

医療費抑制

顧客との価値共創



戦略的協業

パートナー

高付加価値  
Imaging

調和  
統合

IoT

クラウドサービス

スマート  
コミュニケーション

コミュニケーションのDX



## 先進国：医療品質低下のリスク

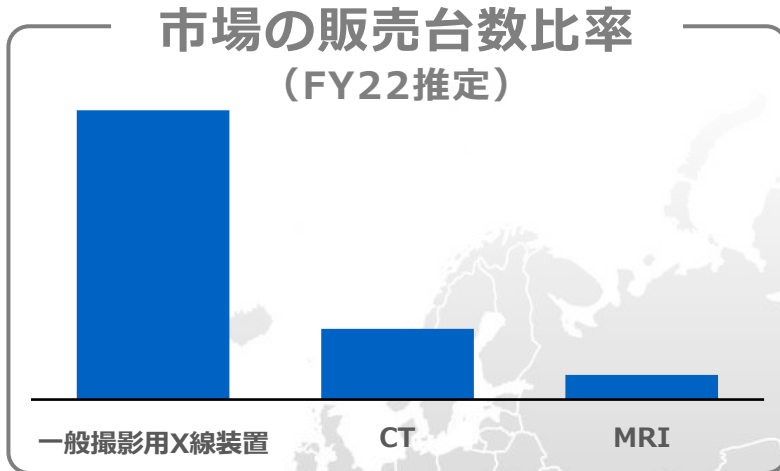
- 医療人材不足
- 医療費高騰

## 新興国：不十分な医療品質

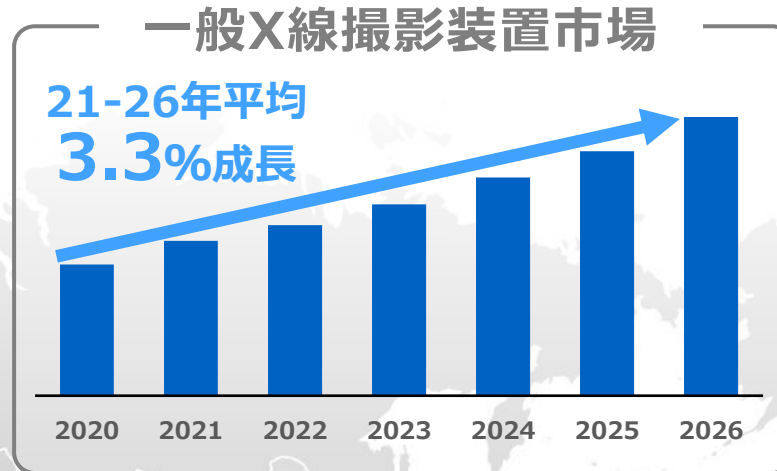
- 医療インフラ不足
- 医師不足・スキル不足

**医療DXで解決**

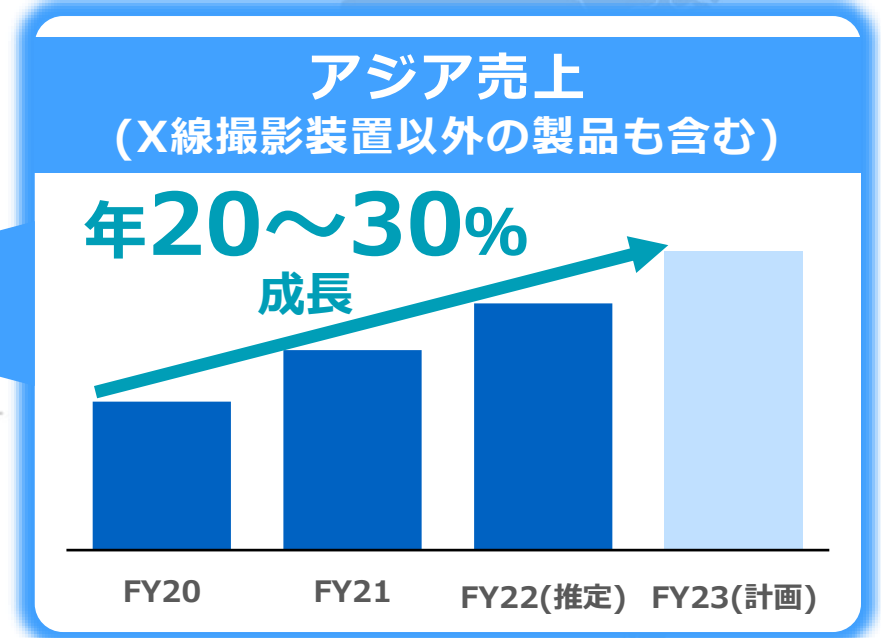
# メディカルイメージング分野の事業拡大



出典：OMDIA Medical Imaging Overview – 2022



出典：OMDIA Medical Imaging Overview – 2022



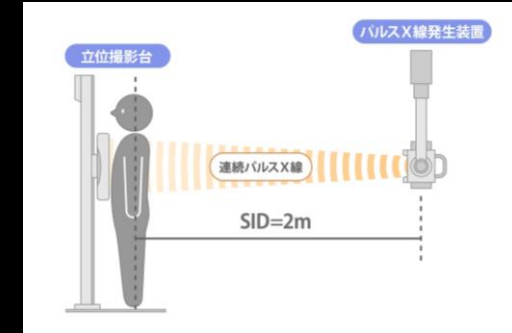


**X線の発見**  
1895年（128年前）

↓  
**CTの実用化**

↓  
**MRIの実用化**

**X線動態解析の実用化**  
2018年11月 発売



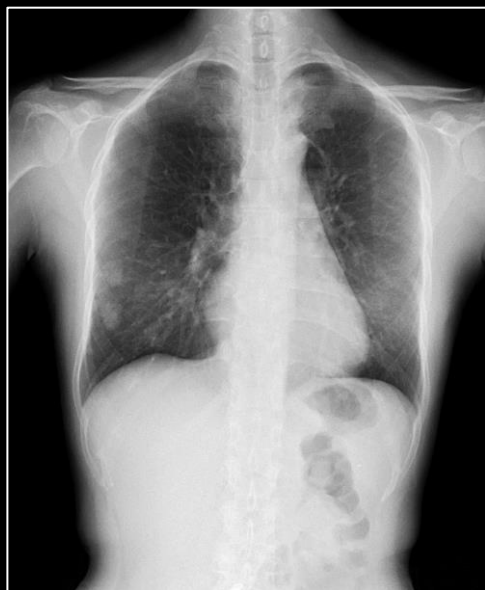
**約10数秒の単純X線撮影で  
動画像を取得**



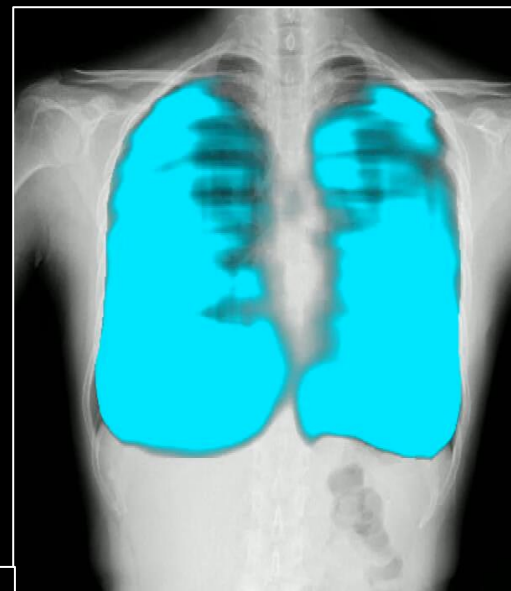
静止画像



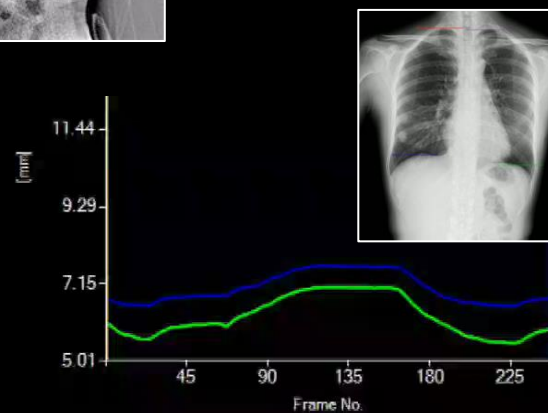
動画像



識別能向上



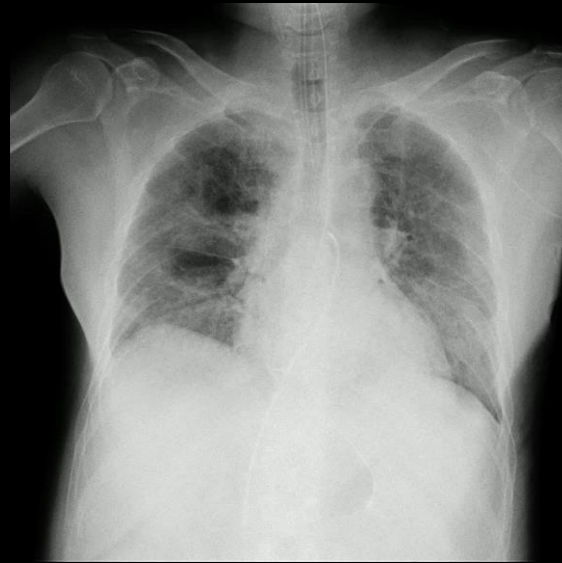
肺機能情報の可視化



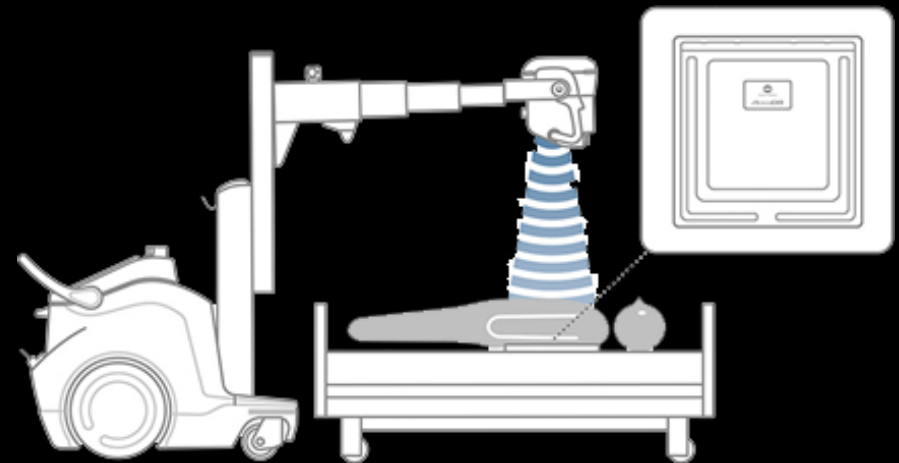
動きの定量化



初日



2日目

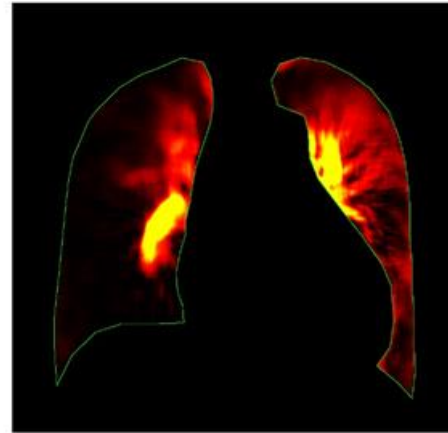


胸部x線動態撮影システム

肺血流シンチグラフィ

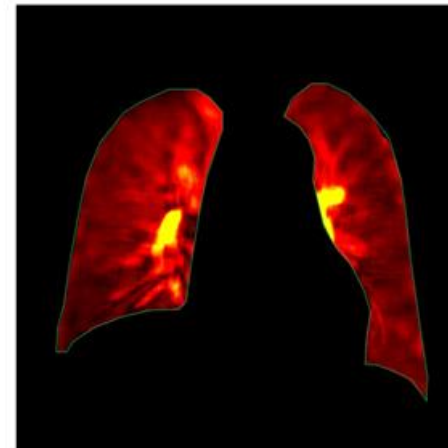
## 慢性血栓塞栓性肺高血圧症

(慢性肺塞栓症による肺高血圧症)

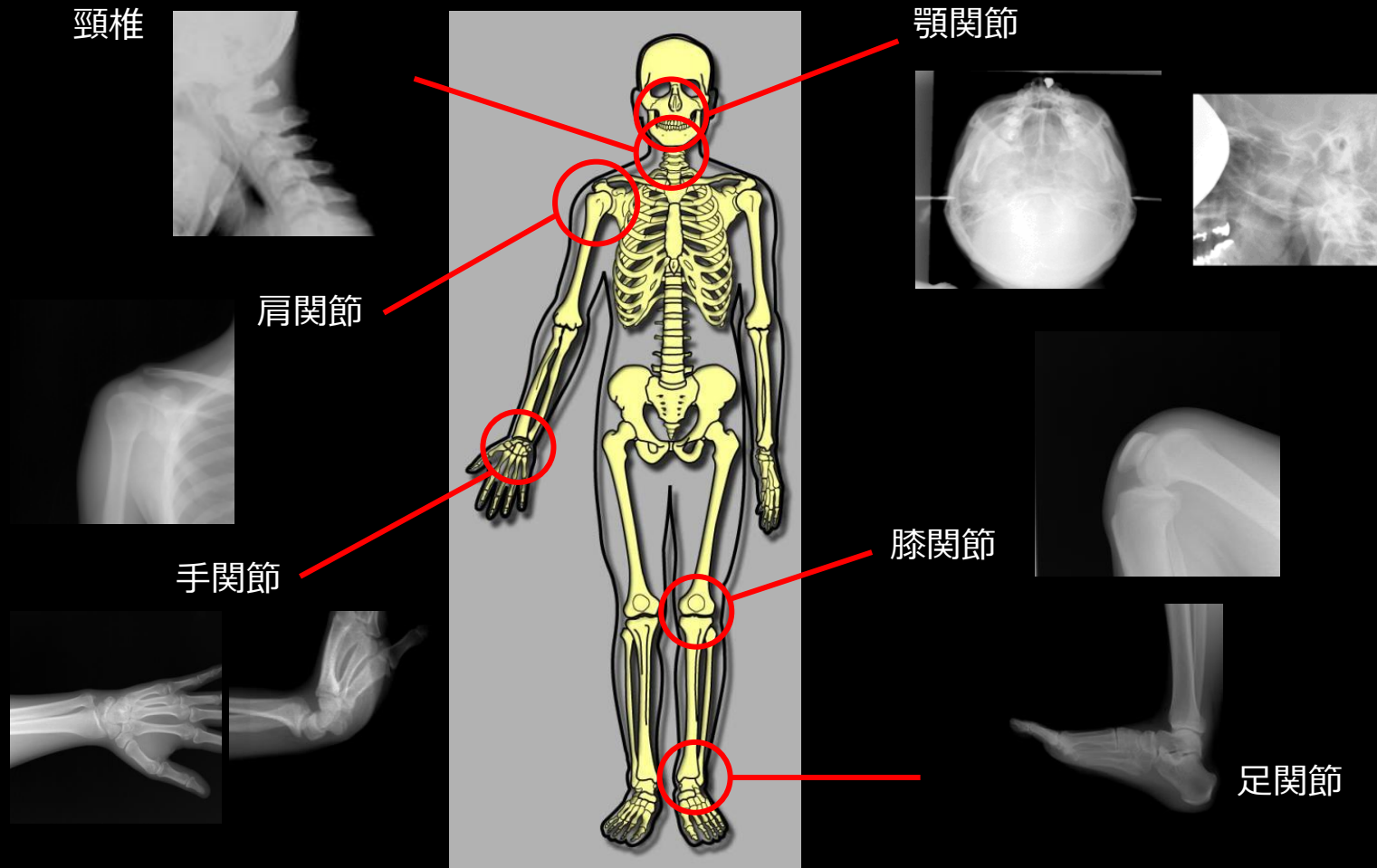


## 肺動脈性肺高血圧症

(非肺塞栓症による肺高血圧症)

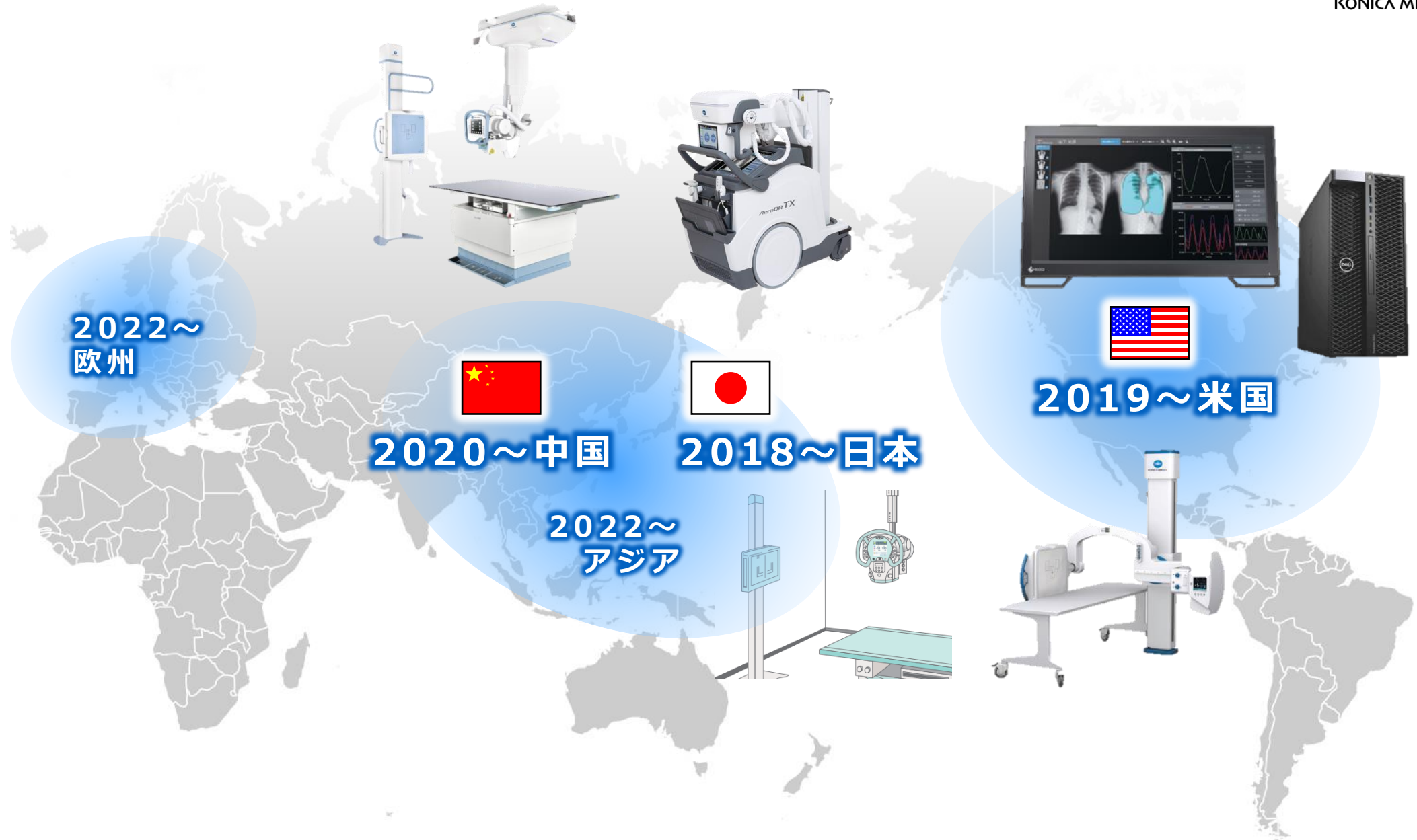








# 世界100施設以上へ導入

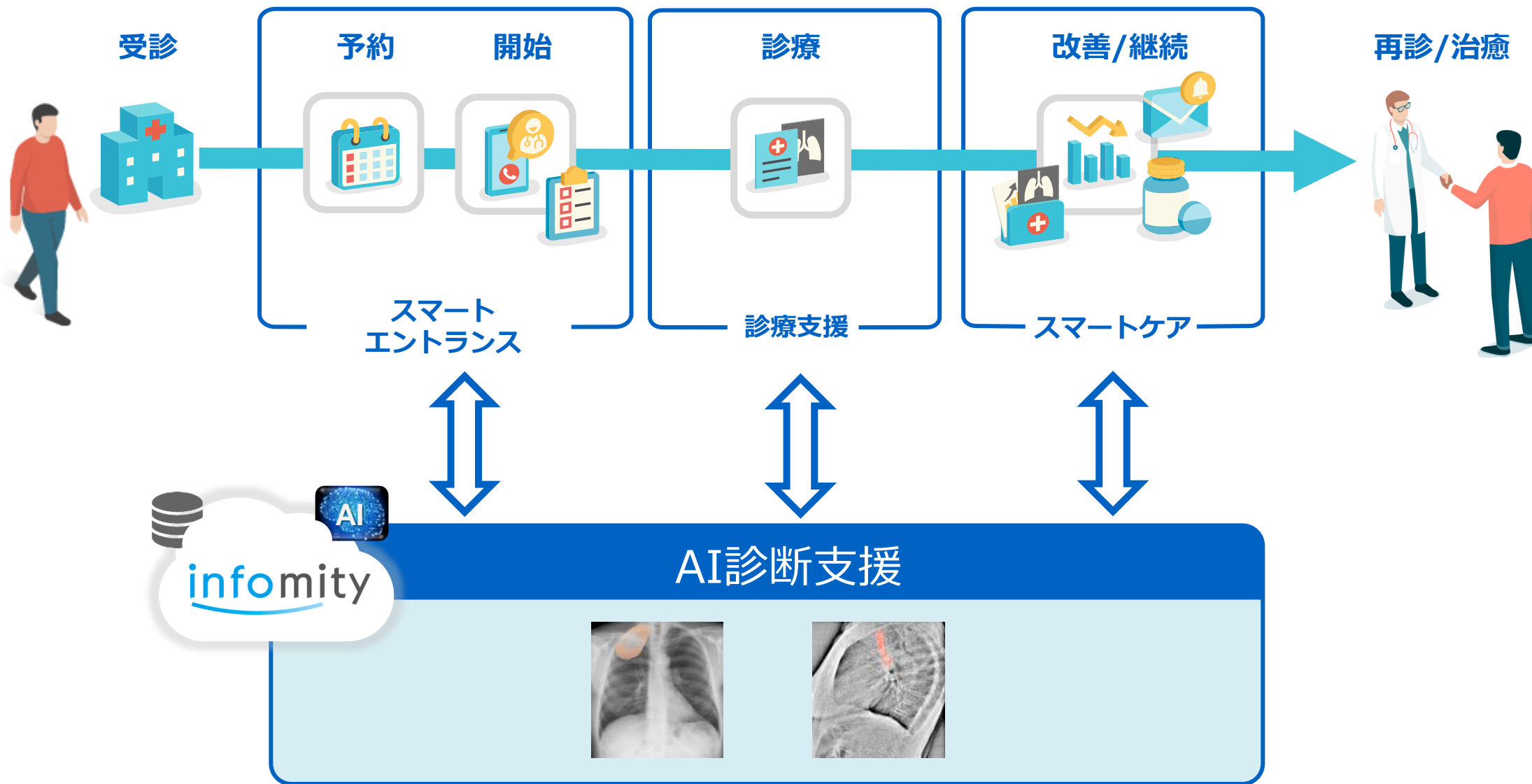






オンライン診療

# 患者と医療機関をつなぐ重要なインフラへ





**KONICA MINOLTA**

**150**

---

**YEARS**



# Appendix





## X線診断装置

### Digital Radiography AeroDRシリーズ



### KDR DDR Advanced U-Arm System



### X線動画解析 ワークステーション「KINOSIS」



### 回診用X線撮影装置 「AeroDR TX m01」



### 画像診断 ワークステーション 「CS-7」



### Computed Radiography

#### REGIUS Σ II



#### Unitea



## 医療ICTサービス

### FINO.VITAシリーズ

- 医用画像管理システム  
「FINO.VITA.GX」
- 画像診断ソリューション  
「FINO.View.Pro」
- 統合画像診断レポートシステム  
「FINO.REPORT」
- 被ばく線量管理システム  
「FINO.Xmanage」
- マンモグラフィ医用画像管理システム  
「FINO.VITA.GX typeMG」
- 乳房構成解析ソフトウェア  
「Breast Density Assessment」
- 部門業務統合管理システム  
「FINO.WorkManage」
- 医療情報統合システム  
「FINO.Integra」

### infomity

- ◆ 画像診断・読影  
胸部骨減弱処理／胸部経時差分処理  
遠隔読影支援サービス  
胸部CT画像AI解析サービス
- ◆ 病病・病診連携  
連携BOXサービス／検査予約サービス
- ◆ 診療支援  
オンライン診療サービス
- ◆ システムサポート
- ◆ 情報・サービス

## 超音波診断装置

### SONIMAGE HS2



### SONIMAGE MX1



### SONOVISTA GX30



## バイタル センシング

### パルスオキシメーター 「PULSOX-Neo」



### 黄疸計「JM-105」



### 生体情報モニタリングシ ステム VS1



- DR/Digital Radiography (デジタルラジオグラフィー)  
デジタルレントゲン、デジタルX線ともいう。レントゲン撮影時に人体を透過したX線の強度分布を検出し、これをデジタル信号に変換してコンピューターによる処理を加えてデータ化する手法またはそのためのシステム。
- CR/Computed Radiography (コンピューテッドラジオグラフィー)  
従来のX線フィルムの代わりにイメージングプレートと呼ばれる輝尽性蛍光体シートを用いてデジタルX線画像を取得する装置。
- 一般X線撮影装置  
被写体の透過X線画像を得るためにX線を照射する装置。レントゲン撮影装置とも言う。
- X線動態解析  
X線画像を連続的に撮影することで患部の動きを観察することができ、より詳しい診断を可能にするシステム。
- PACS (パックス) /Picture Archiving and Communication System  
医療画像処理における画像保存通信システムのこと。DRやCRなどのX線画像やCT、MRIなど大量の画像を管理するシステム。
- infomity (インフォミティー)  
医療機関の診療をさまざまなかたちで支援するICTサービスプラットフォーム。複数の医療機関で撮影画像やレポート内容などの診察情報を共有できる「連携BOXサービス」、読影依頼をすることができる「遠隔読影支援サービス」などを提供。
- 超音波診断装置  
体表から体内に超音波信号を放射し、反射波を画像化する画像診断装置。受診者の負担が少なく、リアルタイムに画像を観察できるため、幅広い臨床領域で使用されている。